

やさしい日本語 書き換えマニュアル

株式会社 Dank

やさしい日本語とは

やさしい日本語とは、日本語初心者の外国人にも分かりやすいように、難しい語彙や表現、文法を使用しない、“易しく”で“優しい”日本語のことです。

日本に暮らす(訪れる)外国人の国籍や言語が多様化し、英語・中国語・韓国語など、限られた言語の翻訳だけでは対応が難しくなっています。そこで注目されているのが、やさしい日本語です。現在では、地方自治体を中心に、外国人への情報発信などに活用されています。

やさしい日本語は、複雑な文構造や難しい単語、あいまいな表現を使用しないことが特徴です。そのため外国人だけではなく、小さな子どもや障がいのある方への対応としても期待されています。

本マニュアルの位置づけ

本マニュアルは、ダンクが取り組むやさしい日本語の書き換えノウハウを、体系的に整理して、重要なポイントをまとめたものです。

やさしい日本語のガイドラインやマニュアルは、国・自治体を中心に数多く公開されています。ダンクでは、それらのエッセンスを取り込み、ダンク流にアレンジしてマニュアルとしてまとめています。本文中でも補記していますが、他のガイドラインやマニュアルも参考にすると、よりよいものになると考えています。

【参考文献】

- ・出入国在留管理庁・文化庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」
- ・アスク出版・吉開章著「入門・やさしい日本語」

本マニュアルの対象者

本マニュアルは、以下のような方が読むことを想定して作成しました。



たとえば・・・

- ✓ 地域の在留外国人へ情報発信する自治体職員の方
- ✓ 各種手続きの内容を、事前に外国人へ伝えておきたい窓口業務の方
- ✓ 職場の外国人向けマニュアル作りに悩んでいる方
- ✓ 外国人向けのWEBサイトなどで集客を考えている方
- ✓ やさしい日本語に書き換えたいけど、ポイントが分からない方

書き換えのステップ <目次として>

やさしい日本語に書き換えるときの作業のステップと主なルールを紹介します。
詳細については、各参照ページを確認してください。



ダंकでは、大きく4つのステップに分けて、やさしい日本語の書き換えを行っています。

ステップ 1

一文を短く区切る

- ✓ ハサミの法則の要領で文章を区切る
- ✓ 重要なポイントを可視化する

詳細は5ページを参照

ステップ 2

情報の取捨選択

- ✓ 掲載情報の取捨選択をする
- ✓ 必要に応じて補足情報を加える
- ✓ 結論や大切な情報は最初を書く

詳細は6ページを参照

ステップ 3

文章をやさしくする

- ✓ 文体をやさしくする
- ✓ 単語をやさしくする

詳細は7ページ～を参照

ステップ 4

読みやすさへの配慮

- ✓ ふりがなと分かち書き
- ✓ さらに分かりやすくする工夫

詳細は10ページ～を参照



次ページでは、例文(防災情報)を使って、各ステップでどのように書き換えるのか実例を紹介します。

書き換えのステップ <例文>

まずは以下の例文を読んで、書き換えのイメージを掴んでください！



右の例文を書き換えてみましょう！

●身の安全の確保

本棚や食器棚が倒れたり、中身が飛び出してきたりするので、座布団など手近なもので頭を守り、テーブルや机の下に入ります。就寝中の場合は布団をかぶります。

ステップ 1

一文を短く区切る

文章として成り立つ単位で区切ります。伝えたいことがいくつあるのか可視化します。この場合は5つあります。

●身の安全の確保

- ①本棚や食器棚が倒れたり、
- ②中身が飛び出してきたりするので、
- ③座布団など手近なもので頭を守り、
- ④テーブルや机の下に入ります。
- ⑤就寝中の場合は布団をかぶります。

ステップ 2

情報の取捨選択

伝えたいことは何かを整理して、記載順を考えます。最も伝えたいことを最初に記載します。

●身の安全の確保

- ・手近なもので頭を守り、机の下に入ります。
- ・本棚や食器棚が倒れたり、中身が飛び出してきたりします。
- ・就寝中の場合は布団をかぶります。

ステップ 3

文章をやさしくする

難しい単語は避けて、簡単な日本語に書き換えます。

●体を守る

頭を守って机の下に入ってください。
大きい家具から離れてください。
寝ているときに地震がきたら、
布団をかぶってください。

ステップ 4

読みやすさへの配慮

分かち書きを行い、漢字にはふりがなを振ります。

●からだ まもる

あたま まも つくえ した はい
頭を守って机の下に入ってください。

おお かぐ はな
大きい家具から離れてください。

ね じしん
寝ているときに地震がきたら

ふとん
布団をかぶってください。

ステップ1 <一文を短く区切る>



ここからは、各ステップの基本ルールを紹介していきます。
ステップごとのポイントを押さえて、書き換えてみましょう。

ステップ 1 一文を短く区切る

<例文>

●身の安全の確保

本棚や食器棚が倒れたり、中身が飛び出してきたりするので、座布団など手近なもので頭を守り、テーブルや机の下に入ります。就寝中の場合は布団をかぶります。



●身の安全の確保

- ①本棚や食器棚が倒れたり、
- ②中身が飛び出してきたりするので、
- ③座布団など手近なもので頭を守り、
- ④テーブルや机の下に入ります。
- ⑤就寝中の場合は布団をかぶります。



ハサミの法則の要領で、**チョコチョコと文章単位で区切っていきます**。
この文章の場合は5つに区切ることができました。
こうすることで、ステップ2の「情報の取捨選択」がしやすくなります。

【ハサミの法則とは？】

やさしい日本語を使う際の基本的な要素となる「はっきり言う」「さいごまで言う」「みじかく言う」の頭文字をとったもの。ダンクでは、「みじかく言う」を具体的に体系化した「ワセダ式ハサミの法則」を参考としています。
(アスク出版「入門・やさしい日本語」吉開章著)

一文を短くするポイント

✓ ハサミの法則の要領で文章を区切る

難しく考える必要はありません。文章として成り立つ単位で区切ります。

✓ 重要なポイントを可視化する

区切ることで、どれが重要なのか、伝えたいことがいくつあるのか、
可視化されて分かりやすくなります。

ステップ2 <情報の取捨選択>

ステップ 2

情報の取捨選択

<例文>

●身の安全の確保

- ①本棚や食器棚が倒れたり、
- ②中身が飛び出してきたりするので、
- ③座布団など**手近なもの**で頭を守り、
- ④テーブルや**机の下**に入ります。
- ⑤就寝中の場合は布団をかぶります。



●身の安全の確保

- ・手近なもので頭を守り、机の下に入ります。
- ・本棚や食器棚が倒れたり、中身が飛び出してきたりします。
- ・就寝中の場合は布団をかぶります。



重要な要素を検討して記載順を決めます。この例文であれば、**伝えたいこと**は③④の赤字部分。最初にどうやって身を守るのかを伝えましょう。
①と②は身を守る必要がある理由です。優先順位を下げています。

取捨選択のポイント

✓ 掲載情報の取捨選択をする

全体を見て文章の意図、重要な部分を考えましょう。想定する読み手を絞って、相手に知って欲しいことは何かを考察します。

情報が多すぎることも分かりにくい文になる原因です。不必要な情報は、思い切って削ることも検討してみてください。

✓ 必要に応じて補足情報を加える

元の情報だけでは理解しにくい場合は補足の説明を加えます。日本独特の文化・風習には説明を追加するなど、読み手目線で不足している要素を加えます。

✓ 結論や大切な情報は最初に書く

一番伝えたいことを最初に記載すると分かりやすくなります。文章の流れによりますが、できるだけ意識して記載順を考えましょう。

ステップ3 <文章をやさしくする>

ステップ 3

文章をやさしくする

<例文>

●身の安全の確保

- ・手近なもので頭を守り、机の下に入ります。
- ・本棚や食器棚が倒れたり、中身が飛び出してきたりします。
- ・就寝中の場合は布団をかぶります。

●体を守る

- 頭を守って机の下に入ってください。
- 大きい家具から離れてください。
- 寝ているときに地震がきたら、布団をかぶってください。



難しい言葉はできるだけ避けて、簡単な日本語に書き換えます。

文章をやさしくする主なポイントは、
「文体をやさしくする」「単語をやさしくする」の2つがあります。

文章をやさしくするポイント①

文体をやさしくする



やさしい日本語で書く場合は、読みにくい文章や回りくどい表現は避けるようにします。誤解や混乱を生まない文体を意識しましょう。

✓文末を「です・ます」調にする

文末表現は「です・ます」調に統一しましょう。「です・ます」や「である」調、体言止めなどが混在する文章は、日本人でも読みにくいですね。

<一例>

緊急事態宣言が東京都に発令された。
これは、新型コロナウイルスの拡大を防ぐ
ためのものである。

東京都が緊急事態宣言を出しました。
新型コロナウイルス(COVID-19)を広げない
ためです。

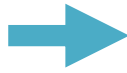
ステップ3 <文章をやさしくする>

✓ 過度な敬語は使わない

接客やビジネスシーンで使われる敬語は、外国人にとって難しい表現です。失礼にあたるようなケースを除いて、できるだけ簡単に書き換えましょう。

<一例>

お手数ですが、ご本人であることを
証明する書類をご提示願います。



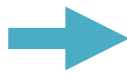
あなたのことが分かる紙<=在留カードや
パスポートなど>を出してください。

✓ あいまいな表現、まわりくどい表現はしない

「～できなくもない」などの二重否定の表現や、あいまいな時間や数字の表現はやめましょう。
できる・できない、いつ・だれが が分かるように表記します。

<一例>

英語ができないことはない。



英語を話すことができます。
英語を話すことができません。

午前中の早い時間は比較的空いています。



午前8時から午前10時は空いています。

文章をやさしくするポイント②

単語をやさしくする



普段何気なく使っている私たちの日本語には、難しい言葉や
日本語独自の言葉使いなどが意外と多くあります。
少し意識して書き換えを行いましょう。

✓ 日本語能力試験N4レベルの語彙を目安にする

一般的に、やさしい日本語で使う言葉は、日本語能力試験のN4レベルが目安と言われています。
できるだけN4レベルの言葉・語彙を使用して書き換えをしましょう。



語彙の難易度を調べるツールでチェックしよう！

専門家によって開発された、語彙や漢字の難しさをチェックする無料ツールが複数公開されています。積極的に利用しましょう。

右記のサイトを参考に
すると便利です。
<東京都多文化共生
ポータルサイト>



https://tabunka.Tokyo-tsunagari.or.jp/yasanichi_tool.html

ステップ3 <文章をやさしくする>

✓ 複合動詞はできるだけ使わない

ある単語のあとに動詞がつく複合動詞は外国人にとって難しい表現になります。できるだけ具体的に行動内容を記載するようにしましょう。

<一例>

不明点はお問い合わせください。
古くなったら買い換えてください。



分からないことは聞いてください。
古くなったら、新しいものを買ってください。

✓ 受け身、使役表現はできるだけ使わない

受け身や使役表現は、主語や主体が誰になるのか分かりづらい表現です。できるだけ使わないようにしましょう。

<一例>

旬の料理を食べられます。
子どもに宿題をさせる。



おいしい料理を食べることができます。
子どもに宿題をしなさい、と言います。

✓ 外来語は使わない

外来語は、本来の意味や発音と異なって使われていることもあるため、できるだけ使わないようにします。「テレビ」や「ラジオ」など、他の日本語で表現できない場合は、そのまま使用します。

<一例>

インフラ(インフラストラクチャー)



電気やガスなど生活に必要なもの

スマート



体が細い / 頭がよい人
(スマートは複数の意味があります。
どの意味で使っているか、きちんと書きましょう)



「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」

ここまで主なポイントを紹介してきましたが、出入国在留管理庁と文化庁からガイドラインが公開されています。興味のある方は、こちらも確認してみてください。



https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese_guideline.html

ステップ4 <読みやすさへの配慮>

ステップ 4

読みやすさへの配慮

<例文>

●体を守る

頭を守って机の下に入ってください。

大きい家具から離れてください。

寝ているときに地震がきたら、

布団をかぶってください。



からだ まも ●体を守る

あたま まも つくえ した はい
頭を守って机の下に入ってください。

おお かぐ はな
大きい家具から離れてください。

ね じしん
寝ているときに地震がきたら

ふとん
布団をかぶってください。



読みやすいように、**漢字にふりがなを振って、分かち書きを行います。**

分かち書きをすると、文節で区切られるので読みやすくなります。

その他にも、箇条書きやイラストの使用などの読みやすさの工夫があります。

読みやすくするポイント①

ふりがなと分かち書き

✓ ふりがな

漢字を読めない方も多くいますので、ふりがなを振ります。この際、漢字の量にも気をつけましょう。「下さい⇒ください」「既に⇒すでに」など、ひらがなで意味が通じる場合は、ひらがなで記載するようにします。



Q:すべてひらがなではダメですか？

A:同音異義語の区別が難しくなると予想されます。また、ある程度日本語の学習が進んでいる方は、漢字を使った方が理解しやすい場合もあるようです。対象のレベルに合わせて対応しましょう。

✓ 分かち書き

文節ごとに空白を入れると、文章が読みやすくなります。

<一例>

大きい 家具から 離れてください。

< Dank の分かち書きルール >

単独の文節では意味が通じないものは、区切らずに前の文節とつなげるようにしています。左記の例でいえば「離れてください」です。「ください」だけでは意味が通じないためです。

ステップ4 <読みやすさへの配慮>

読みやすくするポイント②

さらに分かりやすくする工夫

✓ 箇条書きを使う

どうしても長い文章のときは、箇条書きで表現すると読みやすくなります。

<一例>

サッカーやゴルフの練習などの球技、
および夜間のバスケットボールなどの
騒音行為は、他の公園利用者の迷惑に
なりますのでやめてください。



した か
下に 書いてあることは やらないでください。
ほか ひと いや きも
他の 人が 嫌な 気持ちになります。

- ・サッカー
- ・ゴルフ
- ・午後6時より あとに バスケットボールをする

✓ イラストや図解を使う

イラストや図解を使ってデザインすると、分かりやすさは大きく向上します。

<イラストを使ってデザインした例(粗大ごみの捨て方)>

●粗大ごみとは

家庭から出る家具や寝具、自転車など、最大辺の長さがおおむね30センチを超えるごみです。

テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、パソコンは、粗大ごみでは収集しません。
家電は購入した、あるいは買い替える小売店へお問い合わせください。パソコンはメーカーが回収・再資源化を行っています。各メーカーに直接お問い合わせください。



粗大ごみとは 一番 長い ところが **30cmより 大きい**

す 捨てるために お金が かかります。
す 捨てる 前に 申し込みが 必要です。

家具、寝具、自転車、家電、楽器など、粗大ごみで出すことができないものもあります。



- ・家具や寝具は具体的な名前を表示して、イラストを添えるとイメージしやすくなります。
- ・可、不可を○×で表現して視覚で分かりやすくします。

気を付けてください。
粗大ごみでは ありません。

買った お店に 聞いてください。
つく かいしや き
パソコンは 作った 会社に 聞いてください。

テレビ 冷蔵庫 エアコン 洗濯機 衣類乾燥機(服が かわく) パソコン



■お問い合わせ

株式会社 Dank
〒110-0016
東京都台東区台東1-7-1 邦洋秋葉原ビル
TEL:03-3831-8882

vol2 : 2021年11月